

館山総合高等学校水産校舎のグラウンドの利活用に関する サウンディング型市場調査の実施結果概要について

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

県では、館山総合高等学校水産校舎において使用頻度の高くないグラウンドの一部について、その立地を生かして地域の活性化を図るため、当該学校の教育活動に支障のない形で、民間事業者への譲渡も含めた有効活用を検討しています。

このたび、民間事業者の皆様との対話を通して、利活用に向けたアイデアや御意見などを幅広く把握するため、サウンディング型市場調査を実施いたしました。

2 対象物件

館山総合高等学校水産校舎グラウンドの一部

所在地 館山市館山字古川 1457 番 1 ほか

実測面積 6,861.61 平方メートル

※今回の調査では、様々な可能性を検討するため、グラウンドに隣接する「実習施設敷地」（7,316.11 平方メートル、既存施設あり）を併せて活用する提案も募集しました。

3 実施スケジュール

日程	内容
実施要領の公表	令和 7 年 1 月 2 4 日（金）
現地見学会	令和 7 年 2 月 6 日（木）
ヒアリング	令和 7 年 3 月 1 0 日（月）～ 1 2 日（水）

4 参加者

6 者（業種：宿泊業、飲食業、不動産業、運送業など）

5 提案内容

レストラン、温浴施設、体験型施設、ホテル、マンション、交通ターミナル、野外活動施設 等

6 今後の方針

今回のサウンディングでは、様々な利活用に関する御提案をいただきました。御提案内容を踏まえ、今後、館山市と連携しながら、当該地の利活用に向けた検討を進めていきます。